

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					2025年 4月 8日
スタジオミント							
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		児童の人数が少なくなりすぎない程度に部屋を用途別に使い分けができる	広く使うと片付けに時間や手間がかかりやすいVS活動を実践する	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	2	非常勤職員を募集して雇用に努めている	送迎に余裕を持って行えると良い（学校数が児童数と同じ数であるため	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		トイレは2カ所あり、自立度に分けて使用することができる	スロープの手すりが傘かけになったり、鉄棒のようにぶら下がる児童がいて危険、安全管理に努める	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		入り口近くに防災リュックサックを置いている	机の配置やメンバーの座席を分析的に考えられると良い	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		相談室を個別活動に使用することができる	児童が自分で希望する時と支援者の判断で個別対応する基準を話し合って合意形成する必要がある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	日頃の研修やミーティングで話題にして理解を求めている	できていないと判断してしまう社員にはスモールステップで行っていくよう説明が必要	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	評価表の結果をミーティングで伝え、集計の結果は常時掲示し、業務改善の話し合いに話題にしている	業務改善の内容を職員間で、具体的に話し合う機会を設ける	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		一日2回複数事業所で意見交換できるようオンラインミーティングを実施している	業務改善の内容を職員間で、具体的に話し合う機会を設ける発表できる機会を設ける	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	検討している	費用がかかるが実施に向けて準備している	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		キャリアパスを外部研修や、外部講師も加えて実施している	研修受講が土日になり、振り替え休暇を取得しにくい	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		作成され、公表されている	職員がそれぞれ読み込みする機会や理解度を測る必要がある	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		保護者様との意見交換会や面談は1年に3回程度ある	計画に反映しているが、満足度も測りたい	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		ミーティングでは様々な見立てを話し合う機会がある	共通理解をどうやってできていると判断するのか基準がわかりづらい	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員に対して個別の説明会を行っている	理解と支援方法に個人差を感じる	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		VINELANDⅡなど専門的心理テストを行っている	適応行動の変化を話題にはするが、業務の支援のあり方に反映させ得るスキルを身につける必要がある	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		具体的な支援内容は記載され、説明されている	支援の実態が、記録に反映されていないことがある	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	一月の活動プログラムを職員チームで行っている	新しい職員や、新卒等の状況から意見がまだ出せないこともある	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		場所や新しい活動について、児童や保護者様からのリクエストも取り入れている	特に運動のニーズがあるので、体育館や公園を有効活用する	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	児童の状況によって、日々調整している。	計画に明確に書き分けていなかったが、今後書き分けて計画し、ミーティングで話題にする
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援の内容については、打ち合わせしている	役割分担が経験や資格、考え方によって個人差があるため、見える化する
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		業務終わりのミーティング、報告会、記録に努めている	振り返りを業務改善につなげる
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援記録はチームで閲覧可能なDX化している	支援記録を業務改善につなげる
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		モニタリング記録を状況共有している	モニタリングを業務改善につなげる
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	1	4	デイサービスガイドラインを研修で取り上げ学習している	支援スキルの研修が必要である
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		児童は自分の意思を伝え、コミュニケーションのもとに活動内容や活動場所の確認、参加の意向を伝えることができる	児童の思い通りにならないときも丁寧に接するように支援する
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		シフト調整し、事前に協議した職員が参加するようにしている	情報共有に課題があることもある
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		学校とは日々連携できる体制がある	保育や保険機関との関連が薄い
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		積極的に行っている	送迎時に、普通学級の下校時刻と終了時刻が異なり困っている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		小学校の1年生の入学前に保育所を訪問し、情報提供をうけている	相互理解までは至っていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	対象者がいれば行う	近年卒業まで利用する利用者がいないため、経験がない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5	対象者がいれば行う	対象者がいれば助言や研修を受けたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		地域の交流センターには1ヶ月に1、2回は訪問し利用している。公園でも地域の児童と遊ぶ機会がある	児童館や児童クラブは学校地域との兼ね合いで利用しづらい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	研修会には参加できる	日頃の会議に参加できないままである。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	発達に関しては、児童発達管理責任者が伝えている	専門知識の少ない支援員の教育が必要である
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	必要な対象者に声かけはしている	仕事の忙しい家族に対しての情報提供や研修を企画する
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		丁寧に説明している	1年経過してから利用者負担についての問い合わせがあり、時折アンケート調査が必要
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		日々話題にしている	家族の意向が児童の最善の利益と合致しない場合の対応マニュアルが必要である
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		丁寧に説明している	面談の時間をとることが難しいご家族もある
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		カウンセリングの案内をおこなっている	職員が若年層が大半のため、アンケートや電話での調査で発信しやすくする必要がある

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者会を企画して案内している	兄弟児のケアのため参加できないご家族もあり、工夫が必要
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情発生時の報告はマニュアル通りに行えている	時間経過があつてからの苦情の対応や職員の個人的な事情による退職の説明などが難しい
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		Instagram、HPなど情報発信している。連絡は専用のアプリで日々更新され閲覧できる体制がある	行事予定の通信を配布しているが、確認してもらえていないご家庭もある
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報管理の研修を行っている	施設外での取り扱いや退職時には最重要事項として教育が必要である
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	ご家族に障がいのある場合には特に配慮している	どの場面で配慮すべきなのかについて、研修を行い周知する
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	住宅地に施設があるので、騒音への配慮、清掃など心がけている	町内会や地域活動に参加するようにする 行事の開催を企画する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	保護者連絡会議、個別面談時に必ずマニュアルを提示し、不安な部分を把握するため具体的に聴取り記録をしている	訓練を実施しているが、個人の理解度や行動レベルを把握できていない→アンケートの作成と記入で補う
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		消防点検時に避難訓練を定期的に行っている	職員の周知徹底を図る
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		服薬に関して、ミーティング等で話題にしている	てんかん発作について、かかりつけ医に対応することの周知がなされていなかった
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		食物アレルギーはおやつ提供の時に個別にも確認している	医師の指示書があるか保護者に確認を必ず行う
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		保護者連絡会議、個別面談時に必ずマニュアルを提示し、不安な部分を把握するため具体的に聴取り記録をしている	訓練を実施しているが、個人の理解度や行動レベルを把握できていない→アンケートの作成と記入で補う
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		保護者連絡会議、個別面談時に必ずマニュアルを提示し、不安な部分を把握するため具体的に聴取り記録をしている	キーパーソンには周知できているが、両親、祖母にも伝えたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	研修会の開催、記録の回覧、ミーティングでの注意喚起	ヒヤリハットの研修や記録の確認まではできているが、再発防止の検討についてわからないと回答があった
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修や委員会活動を行っている	研修を実施しているが、個人の理解度や行動レベルを把握できていない→アンケートの作成と記入で補う
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		こどもや保護者に説明し、個別支援計画書に記載している	説明を実施しているが、個人の理解度を把握できていない→アンケートの作成と記入で補う